



亞細亞局

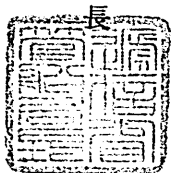
船監第二一六號

第二

昭和七年二月十八日

外務省亞細亞局長殿

遞信省 管 船 局



漢口ニ於ケル時局模様ニ關スル件

本件ニ關シ日清汽船會社ヨリ一月二十九日附同社漢口支店長報告書
別紙寫ノ通提出有之候條爲參考及送附候

昭和七年貳月拾九日
上海事施入信省

0141



當地時局御報告ノ件

日清汽船株式會社

昨日著上海總領事對支最後通牒發送ニ關スル上毎來電拜承、宜昌長沙兩出張所ニ轉電スルト共ニ今朝迄ニ六、七碼頭ニ繫留中ノ鐵船及曳船ハ日本租界碼頭ニ移留、其他萬一ニ慮スル用意シ一層戒慎罷在候海軍側ニ於テモ一昨日我社七碼頭繫留中ノ宇治艦ヲ一碼頭我社前ニ移動セシメ官民協力萬全ノ策ヲ講シ上海情勢ノ推移ヲ俟テタル處昨夜來上海日支軍衝突ノ報至リ益々嚴重警戒致居候

一方水災ニヨル流民ヲ合セ武漢ヲ取捲ク共產黨軍ハ一昨日來攻勢ニ轉シ北ハ黃陂ヲ奪取シテ平漢線橫店（漢口ヨリ約廿哩）ニ侵出シ西ハ漢口上流十八洲ノ金口ヲ陥レテ黃陂磯（漢口ヨリ約十二哩）ヲ襲ヒ掠奪ヲ盡シタルヲ以テ昨日ヨリ避難民陸續漢口ニ流レ込ムトノ報アリコノ間武漢官憲ニテ始末シ盡セサル水災罹災民ノ共產黨ニ雷同スル懸念アルノミナラズ給料不渡リ減額等ニ不平ヲ有シ戰意薄ラキタル軍隊ノ向背危懼サレル等武漢ノ危機眼前ニ迫リタルモ市中戒嚴ヲ布キ保安隊ノ取締リ嚴ニ防匪

日清汽船株式會社

軍亦奪關橫店ノ共匪軍ヲ喰ヒ止メルト共ニ黃陂磯ニ於テハ之ヲ擊破後退セシメタル由ニテ今ノ處市面動搖無之候

是ヨリ先上海事件起ルヤ何成濟主席ハ再三我カ官憲ニ對シ少クモ武漢ニ關スル限り日本人ノ生命財產保護ニ就テハ充分ノ手段ヲツクシツ、アルヲ以テ日本側ニ於テモ特ニ目重視ヒ度旨申込アリタル趣ニテ實際上上海ニ於ケル日支軍衝突ノ報到ルモノノ爲メノ動搖無之モ當地情勢前述ノ如ク共產黨、流民、軍隊ノ不平等不安材料多ク何時事件突發スルヤ豫側シ得サル處ニ候

右不取敢御報告申上候
以上

追テ宜昌、長沙共今ノ處憂慮スヘキ事態發生ノ模様無之候

寫送先

大臣
次官
亞細亞
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
文書
會計

電信課長

分類A. 1.1. 25-2

昭和7 四二四四 暗 漢口 本省

十九日後發 二月十九日後着 (迫急) 亞

芳澤外務大臣

坂根總領事

第六二號 (二日後) (至急)

往電第五七號ニ關シ

今二日朝中田司令ヨリ本官ニ對シ其後司令官ヨリ漢口ニ於テハ特ニ支那側ト親善ノ關係ヲ保ツコトニ努力スヘキ旨命令アリタルニ依リ海軍トシテハ極力隱忍自重シテ當地ニテ事端ヲ生セシメサル様致シ度キ考ニテ且當地目下ノ情勢ハ漸次惡化シツツアルモ差當リ先ツ無事ナルヘント觀測セラル就テハ本官ニ於テ今後トモ右趣旨ヲ含ミ適宜居留民ヲ指導アリタシト申出タルニ付本官モ至極結構ニ存スル旨

外務省

記録件 上海ニ於ケル日支衝突事變關係一件 在留邦人保護及場内避難及被害

0144

ヲ述ヘ進テ種々ノ手配ニ關スル打合ヲモ遂ケタリ尙居留民側ハ今早朝本官ヨリ獅子山砲臺事件ヲ聞キ早速當地ニ於テモ主トシテ民團關係者十五名ヨリ成ル時局委員會ヲ作りテ對策ヲ協議スルコトトナレシカ未タ直ニ内地ヘノ引揚等ヲ提議セントスルモノナキカ如シ右不取敢追報ス
冒頭往電ノ通轉電セリ

0145

外務省

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

文化

人文

人文

會計

寫送先

昭和7 四二六三 暗

上海 十九日後發
本省 二月十九日後着

亞

芳澤外務大臣

重光公使

第二四三號

漢口總領事發閣下宛電報第一二七號ニ關シ

(一)日清ニ於テ御用船二十一日當地寄港ノ筈ニ付事情取調ヘ船長トモ打合セ充分訓戒慰撫ニ努ムヘシ

(二)支那人船員ハ或程度迄漢口ニテ補充出來ルトシテモ當地着後必スヤ脅迫ニ遭ヒ下船スル虞アリ旁日清ニテハ危急ノ間ニ合ハサル様ノ場合ノ發生ニ付危惧ノ念ヲ持チ居ルカ如シ

(三)過日信陽丸ハ二重ニ豫備員ヲ其家族ト共ニ乘込マセ十七日午後一

外務省

上海ニ於テ日支衝突事案ニ係ル事件
支那人保護引揚機及被食ニ係ル

0146

0147

時當地着郵船虹口棧橋ニ繫留戒嚴中ノ理由ニテ上陸ヲ禁止シ外部ヨリ煽動ノ機會ヲ與ヘス翌日未明出帆セシメ幸ヒ無事ナルヲ得タルカ日清トシテハ其都度多數ノ豫備員ト家族ヲ乘込マシムル事困難ナルハ勿論今後荷役其他ニテ碇泊期間長引クカ或ハ船員等カ當地一般空氣ヲ知ルニ於テハ到底下船ノ防止不可能ト見込ミ居レリ
(四)右ノ次第ニテ支那人ノ使用ハ差當リ實現ノ見込無シト存セララルニ付邦人船員募集ノ際ハ充分人選ニ注意セシムル様特別ノ御配慮ヲ請フ
南京、漢口ニ轉電シ、漢口ヨリ九江、長沙、宜昌ニ轉電セシム
上海へ轉報セリ

外務省

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

人文

人文

會計

寫送先

11.10.25-21

昭和7 四三一五 暗

漢口 十九日後發
本省 二月二十日後着

亞

芳澤外務大臣

坂根總領事

第一三四號

長沙發本官宛電報

第一七號

大臣へ轉電アリタシ

第一六號

漢口發閣下宛電報第一二三號ニ關シ

最近湘江増水シ大型船ノ航行自由トナレル處日清ノ現狀ニ於テハ大

型船ノ當期航行ヲ維持セシムルコト困難ト存セラルルニ付テハ現在

外務省

0148

ノ曳船二隻中（拙電第一〇號御参照）一隻ヲ湘江型ヨリモ經濟的ナ
ル涪陵若クハ嘉陵ニ替へ且「ライター」二隻ヲ從來通り當地ニ繫船
シ以テ當地下流間ノ交通並ニ危急ノ場合ニ備フルコト致シタク本
流ノ航行御考究ノ此際漢湘線ニ付テモ併セテ御詮議相成様致シ度シ
支へ轉電アリタシ
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

0149

外務省

電信課長

電信案

(原議用紙甲)

主 任 亞細亞局長 (昭和七年一月廿六日)

件 十九路軍攻撃ノ降シ
吾國民保護方ニ于ル件

名込綴

宛 在漢口 坂根總領事

發 芳澤大臣

亜細亞局長

抑打録

電送第 3953 號

昭和七年二月廿六日 8時3分發

電信案

外務省

今因上海、於テ第十九路軍撤退方、因スレ我方最
後通牒ヲ支那側カ拒絶シタル結果愈同軍ニ對スル
總攻撃ヲ開始セラトシ、我軍ノ行動ハ上流一帯ニ相
當激甚ナル影響ヲ及ホスヲ免レサルニキ處從來支那

第一四 號 至急

下務

3.2

0150

(原議用紙乙)

0151

側カ第十九路軍ノ勝利ヲ盛ニ宣傳シ居タル
關係上其ノ愈々敗退シタル場合ノ反動ニ從テ
大ニ(シト)懸念セラル、有ルニキキ 貴地居留
民ノ保護ハ勿論上流ヨリノ避難、租界ノ防衛、
下流トノ交通等ニハ警備艦側ト特上トモ運
絡ヲ執リ最悪ノ場合ニ處レ遺憾ニキヲ期セラシ
度、往電第七号ノ次第ニテ、萬御如天ニキ

電信案

外務省

電信案

外務省

フット存スルモ為念

沙市へ轉電了る

訓令トシテ長沙九江宜昌へ轉電ト使南

京上海へ轉電了る

(原議用紙乙)

0152

REEL No. A-0072



亞細亞局

七外親第一七一號

昭和七年二月二十二日

長崎縣知事 鈴木信太郎

内務大臣 中橋徳五郎殿
外務大臣 芳澤謙吉殿

警視廳 北海道神奈川大阪

兵庫山口福岡各長官殿

漢口避難邦人ノ一般状況ニ関スル件

本月二十日上海ヨリ入港ノ日汽長崎丸ニテ漢口ヨリ
リ送難レ來リタル一等船客西川喜一ハ漢口避難邦

人ノ一般状況ニ関シ左記談話ヲ為シタリ

右及申(通)報候也

記

昨年水災以來同地中國人ノ邦人ニ對スル態度ハ日ニ
融和的トナリ滿洲事変勃生後ニ於テモ何等変化ヲ
見サリシ模様ナルモ本年一月上海事件發生以來中國
新聞ハ中國連戰連勝セリトノ虚構ノ報導ヲ為セル
カカ為一般中國人間ニハ日本軍恐ルニ足ラスト
謂フカ如キ氣運濃厚トナリツ、アリ現在漢口ニハ中國
正規軍約二萬五千アリ一面漢口ヲ中心ニ約十里ノ地

上海事件

昭和七年貳月廿五日接

0153

吳ニハ相當有カナル共產軍接近シ居リ目下「徐ケイセ
ン」ハ徐源泉？ンガ討伐ノ任ニ當リ居ルモ正規軍ハ
何レモ數ヶ月間俸給不拂トナリ居リ為ニ市民ヨリ贖
出セル賤貨ヲ以テ俸給ノ一部ヲ支拂ヒ一時小東ヲ保テ
居ルモ尚ニヶ月乃至三ヶ月分ノ俸給未拂トナリ居ル
模様ナルカ市民ハ昨年ノ水災ノ後ヲ受ケ今日全ク之
以上軍資贖出ノ能力無ク軍部ニ於テモ賤貨ニ窮レ
居ル状態ナルヲ以テ之等正規軍カ何時共產軍ト握手
シテ同方面ノ治安ヲ紊スニ至ルヤモ計ラサレハ狀況ニ
アリ、同地在留邦人ハ上海事件ノ進展ノ如何ト共ニ何

時如何ナル事態ヲ發生スルヤモ計ラレス且目下同地方
ハ河水減退期ニアリ小型駆逐艦ノ外出入不可能ナル
為メ若シ事変發生セハ避難ノ道ヲ断ルノ懼アルヲ以
テ着々避難ノ準備ヲ急キワ、アリト云フモ一面中國新
聞ハ既ニ南京ニ於テハ邦人居留民ノ引揚終リ後直ぐニ
一齊砲撃ヲ開始シタル事例マルヲ以テ漢口ニ於テモ
邦人引揚アルニ於テハ直ぐニ帝國軍艦ヨリ砲撃ヲ受クル
ヤモ知レスト報導シ居ル為メ邦人ノ引揚ニ付テハ相違
市民ノ注意ヲ拂ヒワ、アル為メ此際一時ニ居留民ノ引
揚ヲ為スハ彼等ヲ一層不安ト混乱ニ陥ラシメ却ソテ

事態ヲ急劇ニ悪化セシムル虞アリトナシ可及的人目ヲ
察カサル程度ニ避難スル事ニ居留民間ニ協議一決シ
漸次計畫ヲ進メラレフ、アルヲ以テ五六日毎ニ回地
ヲ下航スル日清汽船、海軍御用船大福丸、大真
丸ノ二隻ニハ今後相宙ノ避難者アル見込ナリト云フ

了

0155



2

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

寫送先

分類 A.1.1.0.25-2

昭和7 四六一〇 暗

上海 本省

廿三日後發 二月廿三日後着

亞、通

芳澤外務大臣

村井總領事

第三七三號

漢口航路御用船契約ニ付日清本社トノ間ニ何分ノ御取極アルコトト
思ハルルモ當地ニテハ差當リ日清側ト大体左ノ通打合セタルニ付御
含置アリタシ

(一)御用船ハ現在上海在泊ノ岳陽丸及漢口在泊ノ襄陽丸トシ第一船岳
陽丸ハ來ル廿五日當地發潮航豫定今後ノ船繼ハ海軍御用船ノ間ヲ繼
ヒ二隻ニテ月六航海ヲ目標トシ事態ノ變化ニ應シ臨機變更シ得ルコ
ト

記録件 上海ニ於ケル日清衝突ニ係ル一件
在留邦人保護ニ付日清衝突及被害ニ付

0156

外務省

0157

(二)貨物運賃ハ定率ニ依リ船客ハ食料補給「サービス」等困難ノ點モ
アリ差當リ各等二割乃至三割引「サルン」以外避難者ニ限り五割程
度引トスルコト
(三)貨客ニ關スル收支計算書ヲ日清ニテ作成シ船料ト共ニ清算スル
コト
(四)萬一ノ爲海軍ヨリ警戒隊トシテ每船八名宛食料實費外務省持ニテ
乗船セシメタク海軍側ト交渉中
(五)漢口長沙航路船ハ目下當地龍華江上ニ繫留中ニテ支那海軍トノ關
係上引取意ニ任セサル現状ナレハ當分曳船ヲ使用シ此ノ分追テ攻究
ノコト
右ノ通ニ有之貴方御取極ノ内容御氣付ノ點御來示アリタシ

外務省

寫送先

會文人情條通歐亞
計書事化報約商米

大臣
次官

電信課長

(分類 A.11.0.85-2)

昭和7 四六九七 暗
芳澤外務大臣

上海 本省

二月二十四日發着

亞

村井總領事

號外

本官發往電第三七三號ハ公使發第二八〇號ト御訂正相成度シ

上海ニ於ケル日支衝突事變關係一併
在留邦人保護引揚陸軍及被上表

0159

外務省

漢口ヨリ九江、長沙、宜昌へ轉電アリタシ
漢口、南京、九江、長沙、宜昌へ轉電セリ

外務省

0158